



栃木県土木施工管理技士会

■餃子の街～栃木県宇都宮市

栃木県の名物といえば「餃子」です。総務省家計調査によると、宇都宮市の2014年1世帯当たりの餃子購入額は4189円で、浜松市に次いで全国第2位となっています。毎年11月には宇都宮市内において、ファンへの感謝祭として「宇都宮餃子祭り」が開催されます。市内複数の有名店舗が出店し、来場者は各店舗1皿100円で食べられるということもあり、県内でも人気のイベントとなっています。この他にも餃子の街～宇都宮のPRのため「餃子の像」がJR宇都宮駅前に設置されており、街の一つのシンボルとなっています。宇都宮にいらした際は、ぜひチェックしてみてください。



宇都宮のシンボル
「餃子の像」

とちぎのいちご
「スカイベリー」



■いちご王国！とちぎ

昨年「スカイベリー」と呼ばれる新品種が本格デビューを果たしました！スカイベリーという言葉には「大きさ・美しさ・おいしさ」の全てが大空に届くような素晴らしいいちごという意味が込められており、その言葉の通り、果実が極めて大きく、甘みや酸味のバランスがよく、なめらかでジューシーな食感と独特の芳香を特徴としています。デビューから日が浅くまだまだ希少ですが、一度ご賞味下さい。

■日本の世界遺産「日光の社寺」

日光の社寺とは、日光山内にある2社1寺東照宮・二荒山神社・輪王寺の103棟（国宝9棟、重要文化財94棟）の「建造物群」とこれらを取り巻く「遺跡（文化的景観）」を意味し、1999年に世界遺産に登録されました。その中でも、もっとも有名なのが日光東照宮であり、徳川初代将軍「徳川家康」が御祭神として祀られていることで知られています。また、境内には国宝8棟、重要文化財34棟を含む55棟の建造物が並び、その豪華絢爛な美しさに観光客は魅了されます。こうした見所がたくさんある日光東照宮、今年は、徳川家康没後から400年目の節目であり、「400年式年大祭」が開催される予定です。栃木県にいらした際はぜひ観光にお越しください。



日光東照宮

■技士会の活動

本技士会では「積算の実務講習会」や「実行予算の作成実務講習会」など各現場で必要不可欠な技術力の取得を目的とした講習会や、各技術者の技術力向上や最新の土木施工管理技術の習得をサポートするため、技術参考図書の販売を行っています。

また、国土交通省関東地方整備局管内7事務所との意見交換会を実施するなど、積極的に活動を行ってきたところです。今年度はこうした事業に併せて、より優れた講習会を企画・実施していきたいと考えております。